

2024 年度 OA 日本サービス理事会会計監査報告書

監査員 しほ、ほっしー☆彡、まゆ

1. 監査の概要

本監査は、OA 日本サービス理事会の 2024 年度会計(※)の年間収支報告書と書籍販売業務を対象に、正確性・リスク管理の確認を行いました。監査方法として、会計資料及び関連証憑の確認、会計担当者等の関係者へのヒアリング、ならびに取引内容の検証を実施しました。本報告書はその結果をまとめたものです。

※書籍販売業務にかかる書籍会計(2024 年 1 月 21 日～2025 年 1 月 20 日)と、理事会運営にかかる事務局会計(2023 年 12 月 21 日～2024 年 12 月 20 日)

2. 監査結果

- ・収支報告書の正確性
項目および金額に一部修正を要する箇所は認められましたが、全体として重大な誤りは認められず、概ね適正に作成されていると判断しました

3. 指摘事項と改善提案

【書籍・事務局共通】

- ・立替金について、一部精算漏れが発生。立替金の発生・精算状況を管理表で一元管理し、原則として年度内に精算を完了することが望めます
- ・領収書に、支払者・支払内容(目的)のを徹底することが望ましい。

【書籍会計】

- ・会計年度の調整
会計年度を事務局会計と統一することを推奨します(年度比較や集計の整合性を確保)
- ・書籍販売の管理表作成
購入者ごとに購入品目・数量・送料・代金・入金額・入金日を管理する管理表を作成し、未収金や過不足金を明確化する運用が望ましい
- ・購入者情報について
個人情報管理の観点から、書籍購入者の住所氏名を会計書類に保存する必要性について再検討が必要
- ・書籍郵送時に使用するレターパック料金計上の頻度が高いので、毎月〇円×〇個と管理する

【事務局会計】

- ・理事会の Zoom 代金
Zoom 代金については、請求書又はクレジットカード明細など支払内容が確認できる証憑を添付する

・立替金の管理

現状、立替えた本人からの請求に基づき精算を行っているが、今後は、書籍関連以外の立替金については、会計担当者が管理表を作成し精算状況を確認することを推奨。会計担当が立替えた場合、他のメンバーによる管理表のダブルチェックを行うことが望ましい

・メダル代の管理

メダル代の計算書および管理表を会計記録として保存する。会計はメダル代という項目を設け、他の費用と区分して管理することが望ましい

4. 確認事項

4.1 未払いロイヤリティについて

ロイヤリティとは、WSO に支払う OA 出版物に関する著作権料を指す。OA 出版物の販売による純利益の 10% を WSO へ支払うこととなっている。純利益とは、商品の販売価格から直接原価を差し引いた額をいう。

2024 年までの未払いロイヤリティを以下の方法で算出したことを確認した

- ・書籍作成数 - 在庫数 = 売上冊数
- ・売上冊数を基にロイヤリティを計算

当該ロイヤリティについては、Z さんが PayPal で WSO に立替払いを行い、事務局から Z さんへ立替金の精算が行われている。

なお、上記計算書は、理事会に保管されているが、計算書は収支報告書への添付を推奨します。

4.2 A&C 出張時のキャリーケースレンタル費用について

今後も継続して費用負担するか理事会にてご検討ください

4.3 書籍購入者の振込人名義不明案件

書籍代金振込において、振込人名義不明が 1 件確認された→2025 年 11 月に調査および対応が完了

以上